昇辰電気株式会社

2023年度環境経営レポート

（対象期間:2022年10月～2023年09月）

作成日：　2022年10月1日
更新日：　2023年10月31日

環 境 経 営 方 針

＜環境理念＞

昇辰電気株式会社は、地球環境の自然を大事にし環境保全に努め、調和ある社会づくりに貢献します。

1．当社の事業活動全域で資源を大切にし、環境に配慮した活動をします。

2．環境改善及び汚染予防活動の継続的な体制を確立し、環境経営の継続的改善を実施します。

3．環境法令等を遵守し、自律の精神を養い環境の管理の向上に努めます。

4．実行可能な省エネ、省資源、廃棄物の削減に取組みます。

5．環境方針を記したカードを従業員に配布し、周知徹底させます。

昇辰電気株式会社

制定日：2005年4月1日

改定日：2021年2月1日

代表取締役

竹内　和之

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
昇辰電気株式会社
代表取締役　竹内　和之

（2）所在地
本社　　神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目20番15号
富士河口湖工場　　山梨県南都留郡富士河口湖町小立3815

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　本社工場　　早川　恵太　　TEL：044-833-1305
担当者　　富士河口湖工場　　渡邊樹　　TEL：055-520-3980

（4）事業内容
各取引会社からの委託製造
主要製品：㈱京三製作所、菊水電子工業㈱からの委託製造品

（5）事業の規模
製品出荷額　　537，29万円

	本社	富士河口湖工場	新富士河口湖工場
従業員	33名	50名	無人
延べ床面積	479㎡	1，533㎡	倉庫

（6）事業年度　　2022年10月～2023年9月

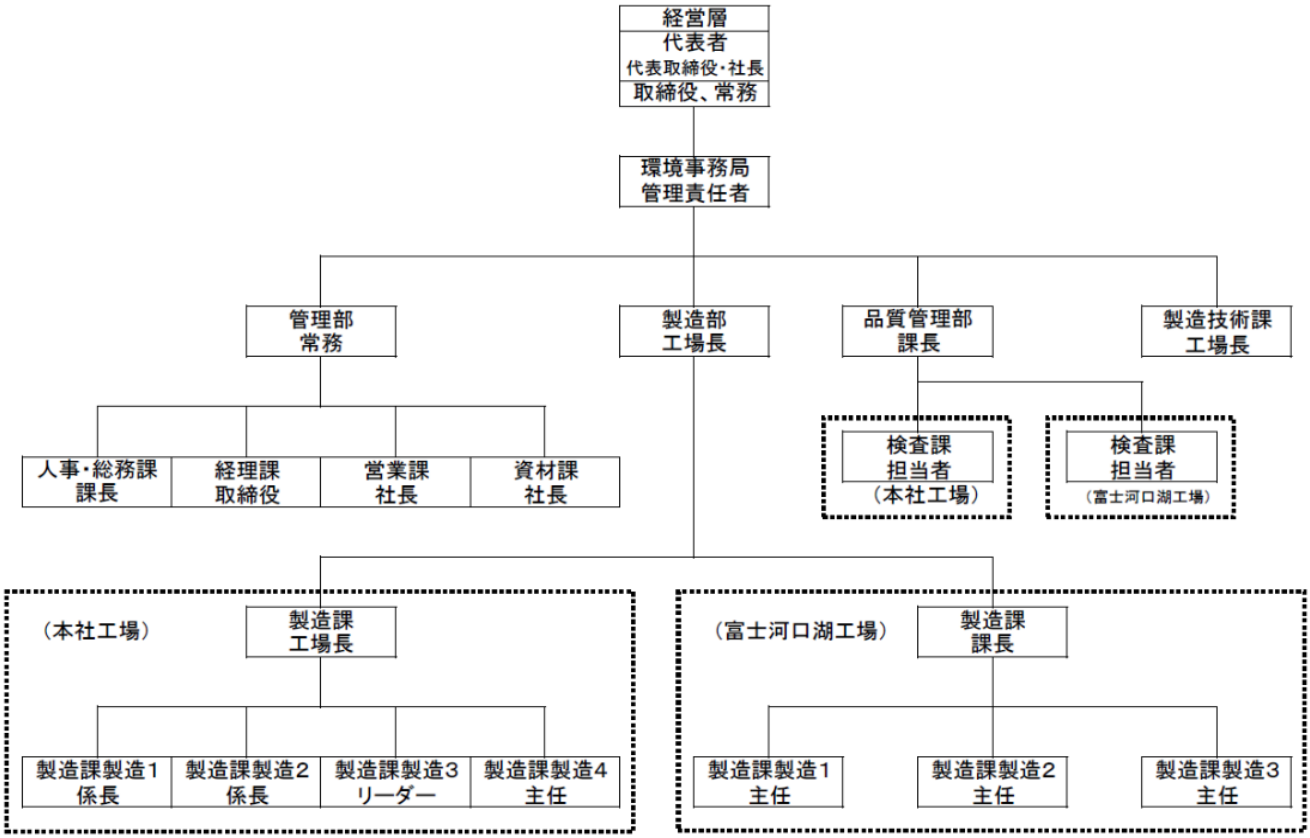
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　昇辰電気株式会社
本社工場（川崎）
富士河口湖工場

活動：　　鉄道信号用制御装置の組立・配線
工作機械の電気設計、ハーネス製作、配線・調整
半導体製造装置の制御部の組立・配線
汎用電源組立・調整

□実施体制

昇辰電気株式会社
実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
経営層 代表者（代表取締役）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境経営計画の審議 ・環境経営実績の確認・評価
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
課の責任者	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成

	試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績（本社工場）

項目	単位	項目	単位
二酸化炭素排出量	kg-CO2	廃棄物排出量	kg 又は ㎥
電力	34,715.52	一般廃棄物	2262.04
ガソリン	6,949.03	産業廃棄物	2043.50
軽油	1,274.16	合計	4305.54
液化石油ガス（LPG）	59.64	水道	307.00
		化学物質	324.00
合計	42,998.35	廃油	289.00

□環境経営目標（本社工場）

＜目標値＝基準値×係数×基準比　係数≒0.84＞

基準年度(2022年度)の実働工数を、今期実績で割って係数を算出する。

項目 ＼ 年度		基準値	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2	40596.26	33889.87	33547.55	33205.23
	基準年比	100%	99%	98%	97%
自動車燃料の二酸化炭素削減（ガソリン）	kg-CO2	6536.90	5457.02	5401.90	5346.78
	基準年比	100%	99%	98%	97%
自動車燃料の二酸化炭素削減（軽油）	kg-CO2	1435.64	1198.48	1186.37	1174.26
	基準年比	100%	99%	98%	97%
液化石油ガスの削減（LPG）	kg-CO2	65.85	54.97	54.42	53.86
	基準年比	100%	99%	98%	97%
合計	kg-CO2	48634.65	40600.34	40190.23	39780.13
一般廃棄物の削減（一般ごみ、段ボール類）	kg	2134.26	1781.69	1763.69	1745.69
	基準年比	100%	99%	98%	97%
産業廃棄物の管理（廃プラ）	kg	1365.00	1365.00	1365.00	1365.00
	基準年比	100%	基準維持	基準維持	基準維持
産業廃棄物の管理（金属くず）	kg	2938.00	2938.00	2938.00	2938.00
	基準年比	100%	基準維持	基準維持	基準維持
合計	kg	6437.26	6084.69	6066.69	6048.69
水道水の削減	㎥	301.00	251.28	248.74	246.20
	基準年比	100%	99%	98%	97%
化学物質の使用量管理	kg	328.00	328.00	328.00	328.00
	基準年比	100%	基準維持	基準維持	基準維持
廃油量の削減	kg	172.00	143.59	142.14	140.69
	基準年比	100%	99%	98%	97%
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				

	基準年比				

・電力の業者別二酸化炭素排出係数：東京電力エナジーパートナー株式会社　調整後排出係数を使用。
（二酸化炭素排出係数：0.441）
・一般廃棄物は委託業者が週2回、回収します。

□環境経営計画及びその実績（本社工場）

＜目標値＝基準値×係数×基準比　　係数≒0.84＞
基準年度(2022年度)の実働工数を、今期実績で割って係数を算出する。

項目 ＼ 年度		基準値	2023年度 目標	2023年度 実績	評価 ○×
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2	40596.26	33889.87	34715.52	×
	基準年比	100%	99%		
自動車燃料の二酸化炭素削減（ガソリン）	kg-CO2	6536.90	5457.02	6949.03	×
	基準年比	100%	99%		
自動車燃料の二酸化炭素削減（軽油）	kg-CO2	1435.64	1198.48	1274.16	×
	基準年比	100%	99%		
液化石油ガスの削減（LPG）	kg-CO2	65.85	54.97	59.64	×
	基準年比	100%	99%		
合計	kg-CO2	48634.65	40600.34	42998.35	×
一般廃棄物の削減（一般ごみ、段ボール類）	kg	2134.26	1781.69	2262.04	×
	基準年比	100%	99%		
産業廃棄物の管理（廃プラ）	kg	1365.00	1365.00	857.00	○
	基準年比	100%	基準維持		
産業廃棄物の管理（金属くず）	kg	2938.00	2938.00	1186.50	○
	基準年比	100%	基準維持		
合計	kg	6437.26	6084.69	4305.54	○
水道水の削減	㎥	301.00	251.28	307.00	×
	基準年比	100%	99%		
化学物質の使用量管理	kg	328.00	328.00	324.00	○
	基準年比	100%	基準維持		
廃油量の削減	kg	172.00	143.59	289.00	×
	基準年比	100%	99%		
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				

・電力の業者別二酸化炭素排出係数：東京電力エナジーパートナー株式会社　調整後排出係数を使用。

（二酸化炭素排出係数：0.441）

グリーン購入
・コピー用紙（再生紙）、リサイクルトナー、事務用品（消しゴム・修正テープなど）、ファイル・バインダー、ティッシュペーパー、トイレットペーパーなど

□主な環境負荷の実績（富士河口湖工場）

項目	単位	項目	単位
二酸化炭素排出量	kg-CO2	廃棄物排出量	kg　又は　㎥
電力	66,056.07	一般廃棄物	5304.80
ガソリン	1,230.19	産業廃棄物	650.00
軽油	15,706.94	合計	5954.80
液化石油ガス（LPG）	43,265.07	水道	1086.00
		化学物質	2168.00
合計	126,258.27	廃油	1200.00

□環境経営目標（富士河口湖工場）

＜目標値＝基準値×係数×基準比　　係数≒0.86＞
基準年度(2022年度)の実働工数を、今期実績で割って係数を算出する。

項目 ＼ 年度		基準値	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
電力の二酸化炭素管理	kg-CO2	69769.73	69769.73	59687.16	59687.16
	基準年比	100%	基準維持	99%	99%
自動車燃料の二酸化炭素削減（ガソリン）	kg-CO2	1023.40	875.51	875.51	875.51
	基準年比	100%	99%	99%	99%
自動車燃料の二酸化炭素削減（軽油）	kg-CO2	15080.15	12900.88	12900.88	12900.88
	基準年比	100%	99%	99%	99%
液化石油ガスの削減（LPG）	kg-CO2	47326.41	40487.17	40487.17	40487.17
	基準年比	100%	99%	99%	99%
合計	kg-CO2	133199.69	124033.29	113950.71	113950.71
一般廃棄物の削減（一般ごみ、段ボール類）	kg	7478.20	6397.51	6397.51	6397.51
	基準年比	100%	99%	99%	99%
産業廃棄物の管理（廃プラ）	kg	890.00	890.00	761.38	761.38
	基準年比	100%	基準維持	99%	99%
産業廃棄物の管理（金属くず）	kg	110.00	110.00	94.10	94.10
	基準年比	100%	基準維持	99%	99%
合計	kg	8478.20	7397.51	7253.00	7253.00
水道水の管理	㎥	1183.00	1183.00	1012.04	1012.04
	基準年比	100%	基準維持	99%	99%
化学物質の使用量管理	kg	1708.00	1708.00	1708.00	1708.00
	基準年比	100%	基準維持	基準維持	基準維持
廃油量の削減	kg	914.00	914.00	914.00	914.00
	基準年比	100%	基準維持	基準維持	基準維持
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				

	基準年比				
	kg				
	基準年比				

・電力の業者別二酸化炭素排出係数：東京電力エナジーパートナー株式会社　調整後排出係数を使用。
（二酸化炭素排出係数：0.441）
・一般廃棄物は委託業者が週2回、回収します。

□環境経営計画及びその実績（富士河口湖工場）

＜目標値＝基準値×係数×基準比　　係数≒0.86＞
基準年度(2022年度)の実働工数を、今期実績で割って係数を算出する。

項目 ＼ 年度		基準値	2023年度 目標	2023年度 実績	評価 ○×
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2	69769.73	69769.73	66056.07	○
	基準年比	100%	基準維持		
自動車燃料の二酸化炭素削減（ガソリン）	kg-CO2	1023.40	875.51	1230.19	×
	基準年比	100%	99%		
自動車燃料の二酸化炭素削減（軽油）	kg-CO2	15080.15	12900.88	15706.94	×
	基準年比	100%	99%		
液化石油ガスの削減（LPG）	kg-CO2	47326.41	40487.17	43265.07	×
	基準年比	100%	99%		
合計	kg-CO2	133199.69	124033.29	126258.27	×
一般廃棄物の削減（一般ごみ、段ボール類）	kg	7478.20	6397.51	5304.80	○
	基準年比	100%	99%		
産業廃棄物の管理（廃プラ）	kg	890.00	890.00	540.00	○
	基準年比	100%	基準維持		
産業廃棄物の管理（金属くず）	kg	110.00	110.00	110.00	○
	基準年比	100%	基準維持		
合計	kg	8478.20	7397.51	5954.80	○
水道水の管理	㎥	1183.00	1183.00	1086.00	○
	基準年比	100%	基準維持		
化学物質の使用量管理	kg	1708.00	1708.00	2168.00	×
	基準年比	100%	基準維持		
廃油量の削減	kg	914.00	914.00	1200.00	×
	基準年比	100%	基準維持		
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				
	kg				
	基準年比				

・電力の業者別二酸化炭素排出係数：東京電力エナジーパートナー株式会社　調整後排出係数を使用。
（二酸化炭素排出係数：0.441）

グリーン購入
・コピー用紙（再生紙）、リサイクルトナー、事務用品（消しゴム・修正テープなど）、ファイル・バインダー、ティッシュペーパー、トイレットペーパーなど

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容（本社工場）

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評　価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・空調温度の適正化（冷房25℃　暖房23℃）	△	強化	2023年度実施結果 目標未達成 こまめな節電を心掛けるよう指示。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
・昼休みの消灯	○	継続	
・不要照明の消灯	○	継続	
・OA機器の省エネモード設定	△	強化	
・節電の周知	○	継続	
・蛍光灯のLED化	◎	済み	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・効率的なルートで配送	○	継続	2023年度実施結果 目標未達成 社用車の使用頻度が増加。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
・冷房の控えめ使用	○	継続	
・更新時に低燃費車を選択	○	継続	
液化石油ガスによる二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・冷暖房の推奨設定温度	△	強化	2023年度実施結果 目標未達成 推奨設定温度を心掛けるように指示。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
（冷房：25．0°暖房23．0°）			
一般廃棄物の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・素材別ボックスの設置	○	継続	2023年度実施結果 目標未達成 通年して廃棄量が増加している。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
・裏紙使用	○	継続	
・古紙のリサイクル化	△	強化	
産業廃棄物の削減			
・数値目標	○	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・素材別ボックスの設置	○	継続	2023年度実施結果 目標達成 現状の取り組みを継続する。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
・リサイクル業者の開拓	△	強化	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	
節水			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・水洗トイレ水量の適正化	△	強化	2023年度実施結果 目標未達成 通年して使用量が増加している。 次年度より、新しい目標値を設定するものとする。
・手洗い水量の適正化	△	強化	
・節水シールの貼り付け	○	継続	
廃油量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・使用量の適正化	△	強化	2023年度実施結果 目標未達成
・作業ミスによる使用量増加の抑制	△	強化	

			通年して廃棄量が増加している。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容(冨士河口湖工場)

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評　価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・空調温度の適正化(冷房26℃　暖房22℃)	△	強化	2023年度実施結果 目標達成 現状の取り組みを継続する。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
・昼休みの消灯	○	継続	
・不要照明の消灯	○	継続	
・OA機器の省エネモード設定	△	強化	
・節電の周知	△	強化	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・効率的なルートで配送	○	継続	2023年度実施結果 目標未達成、客先や本社へ出向する 回数が増加したことが原因と考えられる。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
・冷房の控えめ使用	△	継続	
・更新時に低燃費車を選択	△	継続	
液化石油ガスによる二酸化炭素排出量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・冷暖房の推奨設定温度	△	強化	2023年度実施結果 目標未達成 推奨設定温度を心掛けるように指示。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
(冷房:26．0°　暖房22．0°)			
一般廃棄物の削減			
・数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・素材別ボックスの設置	○	継続	2023年度実施結果 目標達成 現状の取り組みを継続する。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
・裏紙使用	○	強化	
・古紙のリサイクル化	△	強化	
産業廃棄物の削減			
・数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・素材別ボックスの設置	○	継続	2023年度実施結果 目標達成 現状の取り組みを継続する。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
・リサイクル業者の開拓	△	強化	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	
節水			
・数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・水洗トイレ水量の適正化	○	継続	2023年度実施結果 目標達成 現状の取り組みを継続する。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。
・手洗い水量の適正化	○	継続	
・節水シールの貼り付け	○	継続	
・冬季注意書きの貼り付け	○	継続	
廃油量の削減			
・数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■基準見直し	
・使用量の適正化	○	継続	2023年度実施結果 目標未達成
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	継続	

			廃液の回収頻度が増大したのが原因。 次年度より、新しい目標値を設定する ものとする。

□環境関連法規等の厳守状況（本社工場）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
フロン排出抑制法	エアコン、冷蔵・冷凍機器
消防法（危険物）	有機溶剤の保管
参考法令・条例	
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	現、送風機及び空気圧縮機7．5kw未満で対象外
騒音規制法（第2種区域）	現、送風機及び空気圧縮機7．5kw未満で対象外
振動規制法（第1種区域のⅡ）	現、送風機及び空気圧縮機7．5kw未満で対象外
悪臭防止法（1種地域）	事業所全体
自動車NOx・PM法	非該当（ディーゼル車、ガソリン・LPG車）
土壌汚染対策法	有機溶剤の保管庫
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機
化学物質排出把握管理促進法	PRTR制度・SDS制度
下水道法	特定施設なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□環境関連法規等の厳守状況(冨士河口湖工場)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
山梨県生活環境保全条例	空気圧縮機　7．5kw以上
騒音規制法（第2種区域）	空気圧縮機　7．5kw以上
振動規制法（第1種区域）	空気圧縮機　7．5kw以上
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
フロン排出抑制法	エアコン、冷蔵・冷凍機器
浄化槽法	合併浄化槽
消防法（危険物）	有機溶剤の保管
参考法令・条例	
悪臭防止法（A区域）	事業所全体
土壌汚染対策法	有機溶剤の保管庫
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機
化学物質排出把握管理促進法	PRTR制度・SDS制度

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今年度より、実働工数（保有工数）により係数を算出して、目標値が変動するよう見直しを行った。
新しい基準値で運用を開始したばかりのため、基準値の設定の仕方に問題があるかはまだ判断できな

その検証も兼ねて、次年度も同じ手法で運用して経過を観察するものとする。また、基準値を超過した項目については、原因の追求と対策を講ずるものとする。

□環境活動の紹介

本社及び富士河口湖工場周辺の清掃活動。